



TITLE:

# 『京都大学大学文書館研究紀要』 編集要項, 編集後記

AUTHOR(S):

河西, 秀哉

---

CITATION:

河西, 秀哉. 『京都大学大学文書館研究紀要』 編集要項, 編集後記. 京都大学大学文書館研究紀要 2006, 4: 101-102

ISSUE DATE:

2006-03-24

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/68857>

RIGHT:

『京都大学大学文書館研究紀要』編集要項

1. 京都大学大学文書館に、京都大学大学文書館研究紀要（以下、「研究紀要」という。）の構成および内容に関する基本的計画の立案その他編集の総括を行うため、京都大学大学文書館研究紀要編集委員会（以下、「編集委員会」という。）を置く。
2. 編集委員会に委員長を置き、大学文書館長をもってあてる。委員は大学文書館教員とする。
3. 研究紀要には、京都大学および高等教育の歴史、アーカイヴズ論等に関する論文、研究ノート、資料紹介、書評等を掲載する。
4. 論文は、400字詰原稿用紙換算で60枚以内、研究ノートは40枚以内、資料紹介は80枚以内、書評は20枚以内とする。ただし、編集委員会で特に認めた場合はその限りではない。
5. 研究紀要に執筆することができるのは、京都大学大学文書館の教職員のほか、学内外を問わず編集委員会で選任して依頼した者、執筆を希望して編集委員会で認められた者とする。
6. 原稿は原則として未発表のものに限る。

## 編集後記

『京都大学大学文書館研究紀要』第4号をお届けいたします。

大学文書館における調査・研究業務は、大学アーカイヴズを中心とするアーカイヴズについての研究と、京都大学を中心とした高等教育に関する歴史研究の2つに分けることができます。本号掲載のアーカイヴズに関する論文では、先発の地域アーカイヴズにおいてもアーカイヴズに関する定義が確立しておらず、文書の整理保存などで様々な揺れが存在していることを指摘しています。こうしたアーカイヴズをめぐる現状を踏まえ、私たち大学アーカイヴズがいかなる組織であるべきなのかを考えていくことは、大学文書館の重要な課題と言えます。

また、本号には当館所蔵資料を用いた論文も掲載されています。当館では、移管法人文書・個人寄贈資料は整理・準備が出来次第、順次公開しています。公開文書が京都大学に関する歴史や高等教育史の研究などに資すること、すなわち文書館を利用していただき、その成果が発表されることは、アーカイヴズとしての使命であり、かつ意義の一つでもあります。本研究紀要には今後も、そうした成果を数多く掲載したいと考えています。読者の皆様には今後とも京都大学大学文書館・研究紀要をご指導いただきますよう、よろしくお願いいたします。

(大学文書館助手 河西秀哉)

---

### 京都大学大学文書館研究紀要 第4号

---

2006(平成18)年3月24日発行

編集 京都大学大学文書館研究紀要編集委員会

発行 京都大学大学文書館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

電話 075(753)2651

印刷 ヨシダ印刷(株) 京滋営業所

〒604-8277 京都市中京区三坊西洞院町572

NOA 高松殿ビル6F

TEL(075)252-5421

---